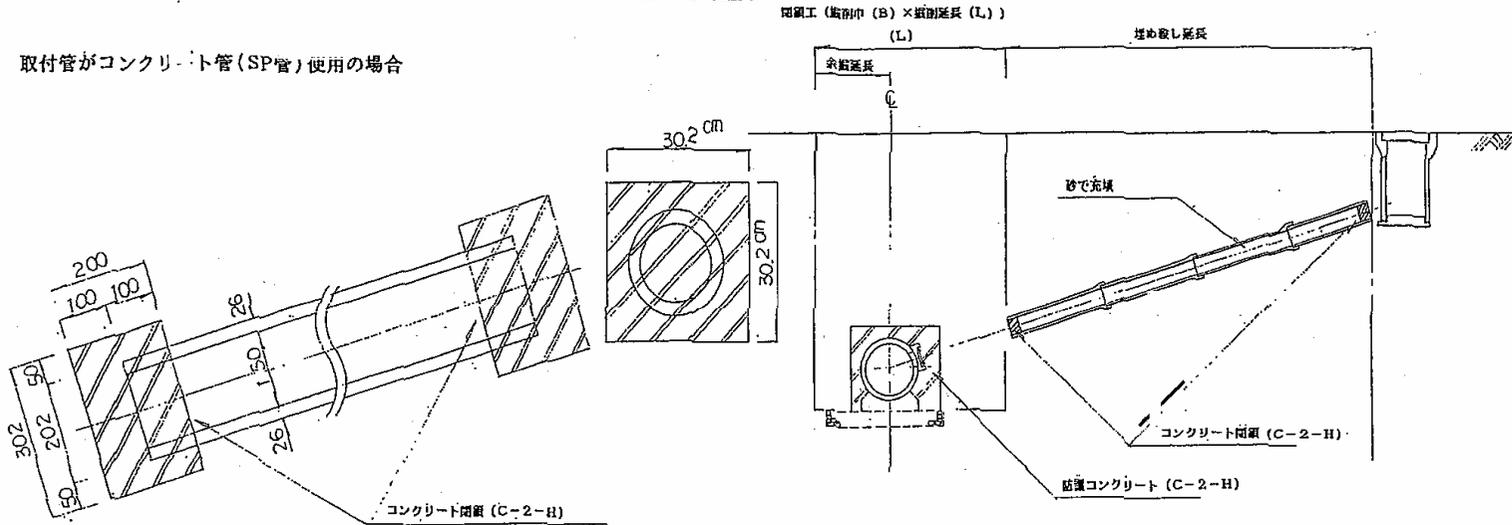


(参考資料 : 10)

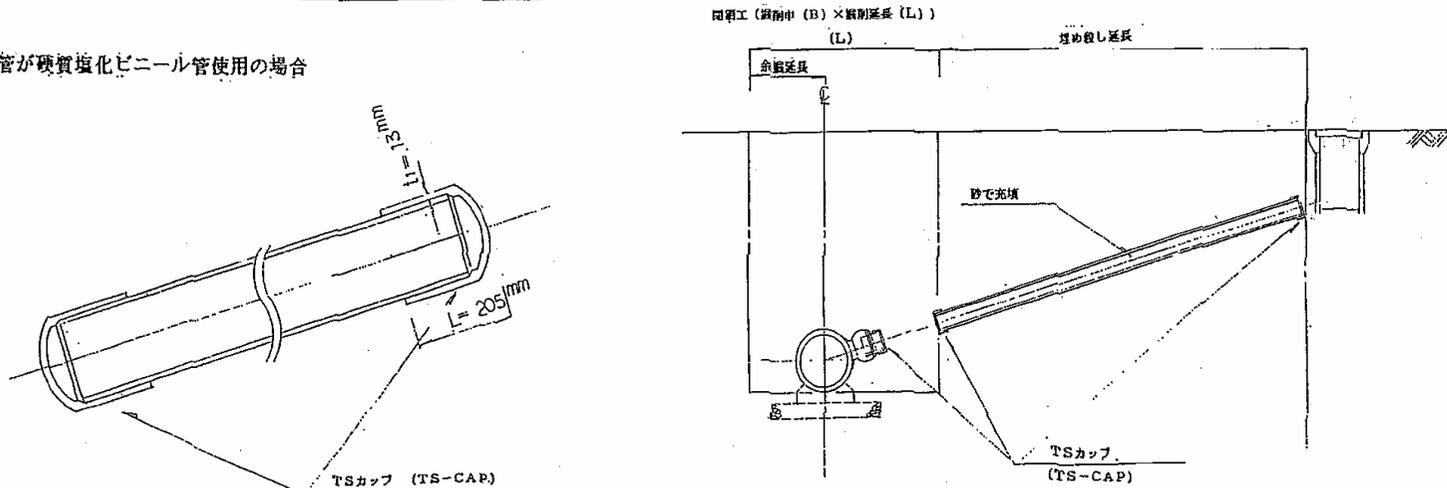
既設管ソケット取付付及び防護図等

取付管を取り残す場合の
取付管及び支管取付部閉鎖詳細図(参考図)

取付管がコンクリート管(SP管)使用の場合



取付管が硬質塩化ビニール管使用の場合



※注意事項

- 1) 取付管が開口寸の取付管は、全線撤去することを基本とし、取り残す場合は、地下埋設物等(水道、ガス、NTT、北電ケーブル)の機能などに害を及ぼすことが不可能と判断される場合のみとする。

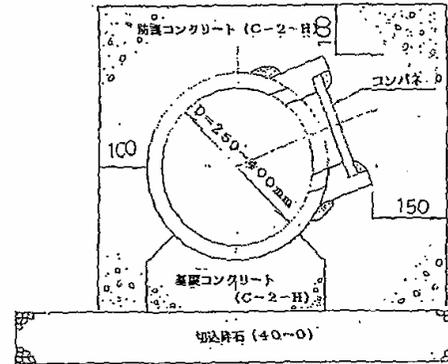
取付管撤去後のソケット取付部防護図

コンクリートソケット使用の場合

本管 (mm)	取付管 (mm)	防護巾 (mm)	防護延長 (mm)
D=250以上	D=150	図示	470
D=300以上	D=200	図示	530

※注意事項

- 1) コンクリートソケットの防護コンクリートの使用に際しては、本管D=250mm~900mmまでとし、土質等を十分考慮して使用する。但し、砂質土質で土等の恐れが予測される場合は、コンクリートソケットを塩ビ自在ソケットで代替し、防護コンクリート無しで施工する方法としても良い。
- 2) 本管D=1000mm以上のコンクリートソケットの開口口については、コンクリートソケット部分のみの防護コンクリートとする。
- 3) 塩ビ自在ソケットの開口口については、TSカップ (TS-CAP) を使用すること。



塩ビ自在ソケット使用の場合

